

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 資本論 | 資本論 (12)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

### 資本論 (12)

#### 剰余価値の減少

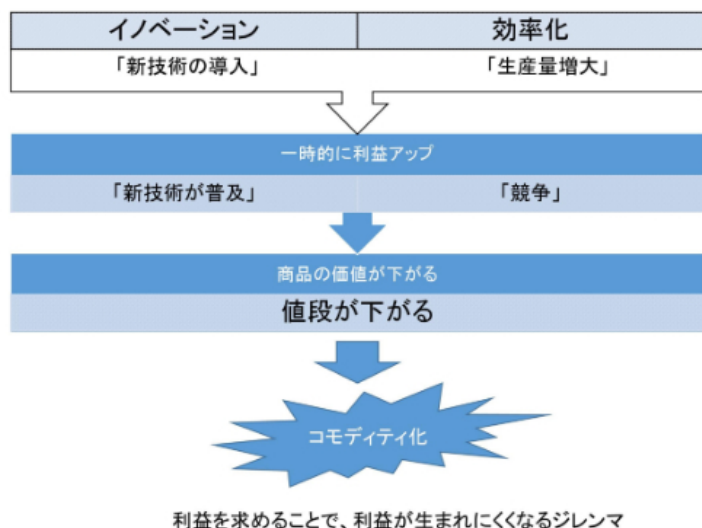
「絶対的剰余価値」「相対的剰余価値」「特別剰余価値」という3種類の剰余価値があることは述べてきた。「絶対的剰余価値」は労働者を長時間働かせて生み出す利益だから、おのずと限界がある。「相対的剰余価値」は社会全体の変化から生み出される利益だから、企業が意図的に増やせるものでもない。「特別剰余価値」は他社よりも効率よく生産すれば生み出せるが、すべての企業がそれを目指して競争しているから、発生した特別剰余価値は、技術やノウハウがやがて世間一般に広まるにつれてなくなり、いずれ特別ではなくなってしまう。

特別ではなくなくなるといことは、それが社会平均になるということだ。イノベーションは労働の生産性を高め、剰余価値を増やす。短期的には、イノベーションが起これば、製造コストを低くできたり、新しい商品が生まれ、企業の利益を増やす。

しかし、技術が普及すると商品のコモディティ化を引き起こす。だからといって競争を止めれば資本主義経済では生きていけない。資本主義経済では、このように何もしなくても、商品の価値がどんどん下がっていき、絶え間ない競争の世界で生きていくこととなる。

#### 剰余価値の減少

「資本主義経済では、利益は減っていく」



(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.